

町民の期待に応える予算か！

四つの議題を議員間で討論！

解説 議員間討議とは…予算案について委員同士で意見を出し合い、考えを深めるための話し合い。

分科会（厚生文教委員会所管分野）

討議事項

みんなの居場所について

榎本 委員(座長)、原 委員、森 委員、大坪 委員、下澤 委員、井上 委員、浜崎 委員

長期総合計画

基本目標1

誰もが健康ですこやかに暮らせるまち

基本目標2

子どもたちがのびのびと育つまち

基本目標3

豊かなこころを育むまち



分科会での主な意見

●高齢者の居場所

- ・公共施設以外の施設も含め、民間の活力も取り入れて居場所の創出を図るべき。
- ・「寄り合いハウスいこい」や令和3年11月に閉館した「シルバーまちかど」のような施設が各地域に必要である。

●子どもの居場所

- ・おひさまキッチンにもっと予算を計上すべきでは。
- ・子どもの居場所づくりに対して補助金の有効活用をすべき。

●多世代の居場所

- ・MIZCULは継続して、議会としてしっかりと注視していく必要がある。

結果→委員長の審査報告に討議内容を盛り込み、所管の委員会で引き続き調査していく。

討議事項

不登校対策について

長期総合計画

基本目標2

子どもたちがのびのびと育つまち



分科会での主な意見

- ・教育委員会だけでなく福祉課など横とのつながりが必要。

- ・民間の力を活用し、教育支援室「いぶき」のような施設の点在化をしていくべき。

- ・近隣市町村との広域連携も含み、第三の居場所をつくり、場所や内容の見える化を図ることが必要。

- ・不登校の予防として、Q-Uテストを導入すべきではないか。

結果→委員長の審査報告に討議内容を盛り込み、所管の委員会で引き続き調査していく。

分科会（総務産業建設委員会所管分野）

討議事項

まちづくりについて

香取 委員(座長)、大和 委員、下野 委員、古宮 委員、高橋 委員、川島 委員

長期総合計画

基本目標6

便利で快適に暮らせるまち

分科会での主な意見

●殿ヶ谷土地区画整理事業

- ・計画では令和7年3月完了予定だったものが13年3月まで延長され、事業予算がさらに9億円追加されることになったが、今後5年間で完了できるのか注視すべき。

●モノレール新駅周辺のまちづくり

- ・今後予定されているワークショップについては、住民と一緒に検討していく取組が必要。

●栗原土地区画整理事業

- ・具体的な懸案事項(都道・八高線ガード下の拡幅や下水道の普及など)に対して調査・研究を進めることが必要。



結果→委員長の審査報告に討議内容を盛り込み、所管の委員会で引き続き調査していく。

討議事項

公共交通について

長期総合計画

基本目標6

便利で快適に暮らせるまち



分科会での主な意見

- ・自動運転バスの自動運転率を高めるためには道路環境整備が必要。

- ・コミュニティバスを高齢者が利用しやすいようにするために、高齢者の優遇措置が必要では。

- ・現在、デマンド交通の会員登録は満70歳以上の方に限られているが、年齢制限の検討をすべき。



結果→委員長の審査報告に討議内容を盛り込み、所管の委員会で引き続き調査していく。